



1 木津川尻防波堤取
除工事。(5,6)

大阪港第二次修築工事狀況

大阪市港灣部長 近 藤 博 夫

三十有餘年の日子と四千有餘萬の巨費とをもつて去昭和四年竣工を見た大阪築港は、現在 198萬坪の水面積を有してゐるが、之を利用する船舶の數近年著しく増加し、時として錨地の狹隘を告げ飽和状態を現出するに至つてゐる。しかも大阪港の貿易統計は貨物噸數に於て入超、金額に於て出超を示し、商工業地としての大阪が逐年發展の過程にあることを立證してゐる。此處に於て大阪市は工費豫算約4,276,000圓を計上し、出入船舶に充分なる錨地を持たしめ、且つ東洋屈指の大貿易港として名實共なる設備を完ふすために、第二次修築計畫を實施するに至つた。

大阪港第二次修築計畫による第一期工事は目下、着々進工中にして、その主たるものは

突堤及埋立工事

第二突堤、延長373米幅員頭部10米基部50米、第一及第三突堤間に西方に突出し、基部は南海岸通に接近してゐる。

第八號繫船岸背面、これは尻無川口北岸南福崎町地先で、延長336米幅員9米である。

繫船岸

第五繫船岸 第二突堤の南岸に出来る。延長373米幅員18米、岸面の高平均干潮面上33米水深干潮面以下9米である。

第八號繫船岸 延長336米、岸面の高平均干

潮面上3.5米、水深平均干潮面下7.5米で、尻無川口北岸南福崎町地先に出来る。

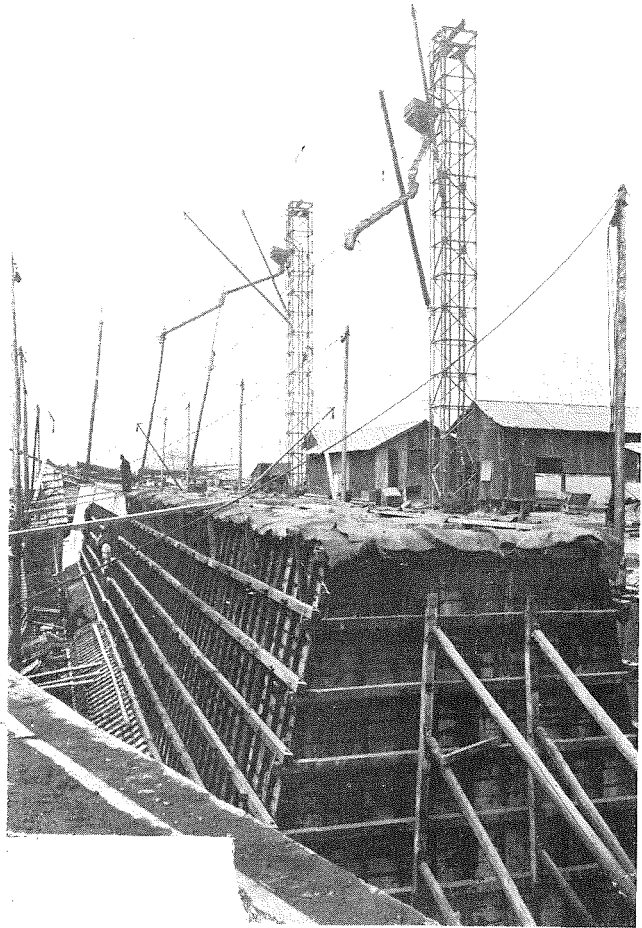
荷揚場

第二突堤尖端及基部 鐵筋混凝土矢板造護岸で、延長200米、岸面の高さ平均干潮面上2.6米、水深平均干潮面下2.5米。

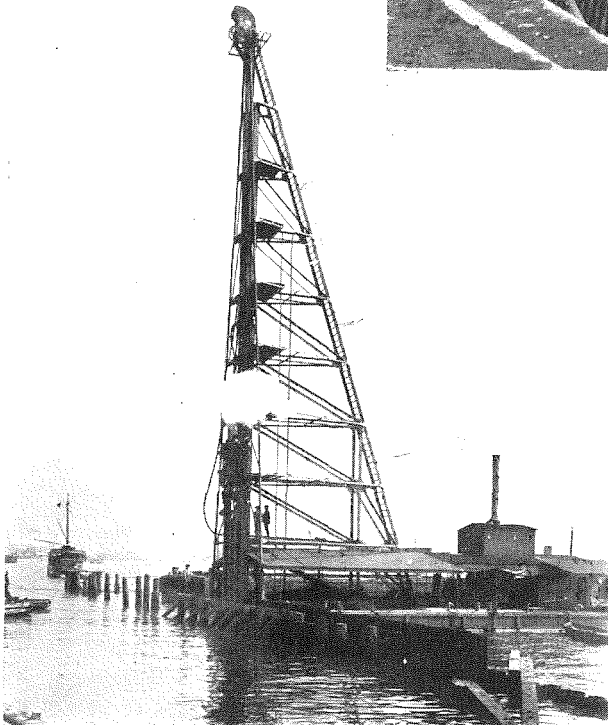
防波堤

木津川口沖合 延長1,000米、堤防の高さ平均干潮面上3.2米、敷幅26.7米で、二條よりなり、捨石堤上に鐵筋混凝土潜函を定置する構造である。

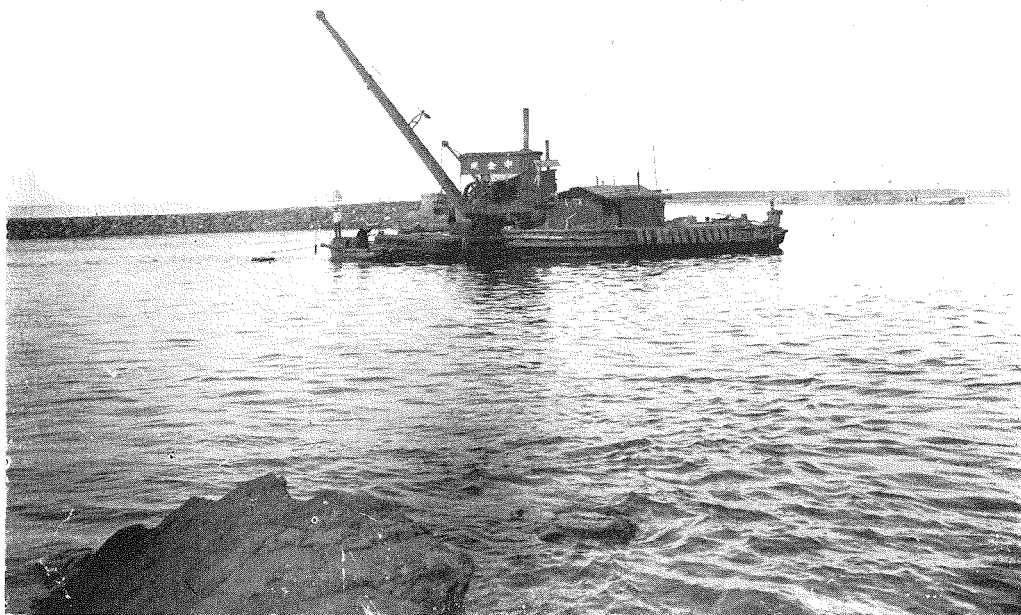
此他工事中のものに梅町繫船岸同荷揚護岸がある。共に鋼矢板構造である。(以上)



2 防波堤用潜函製作
於佐野安船渠(6,1)

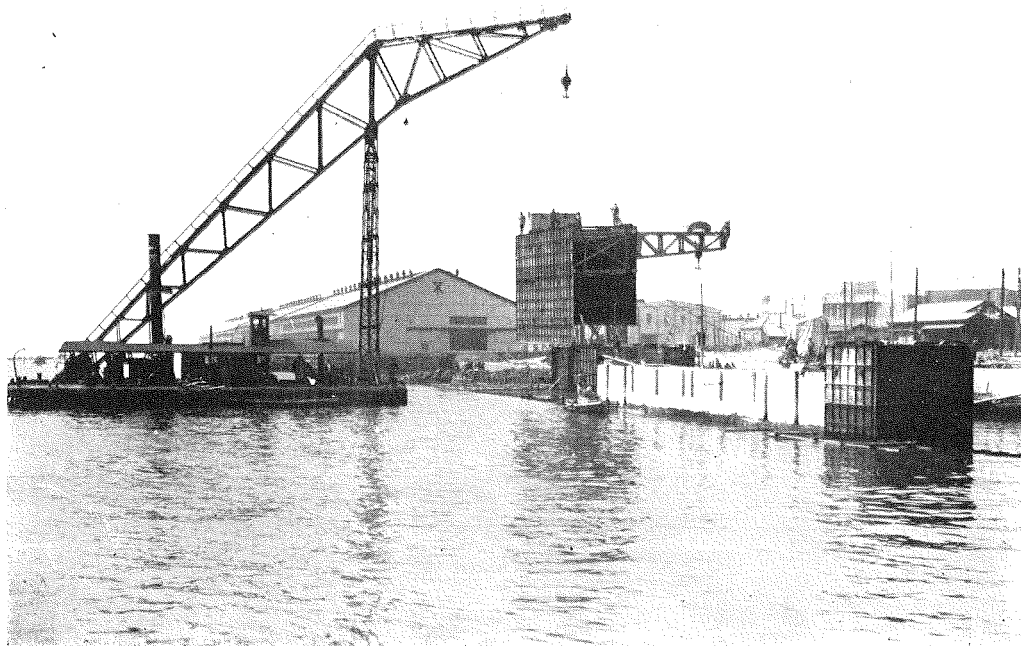


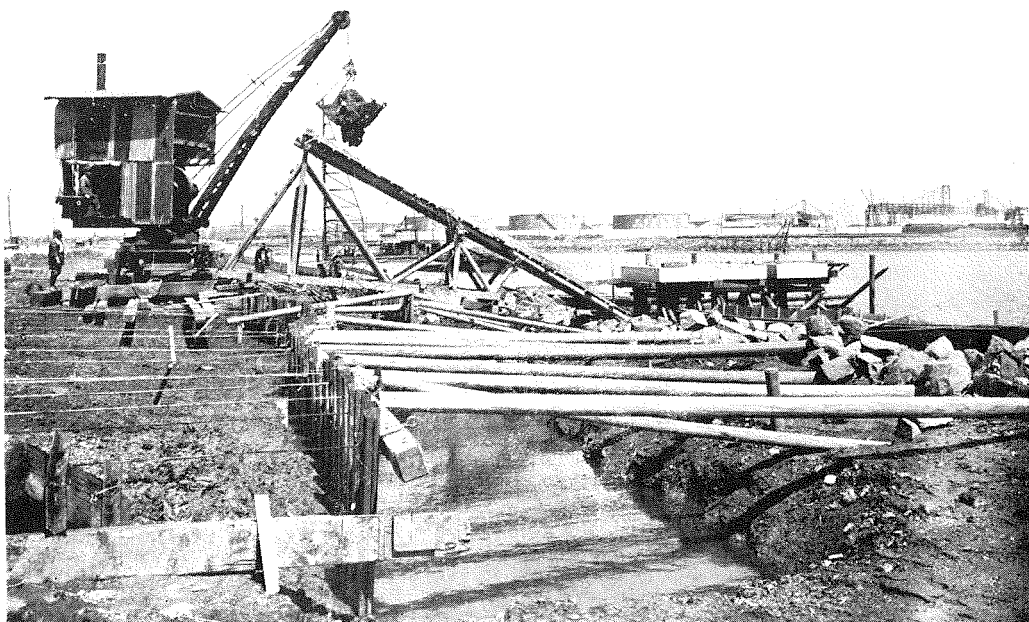
3 第八繫船岸々壁工
鐵矢板建込(6,4)



4 内港防波堤切開工事。

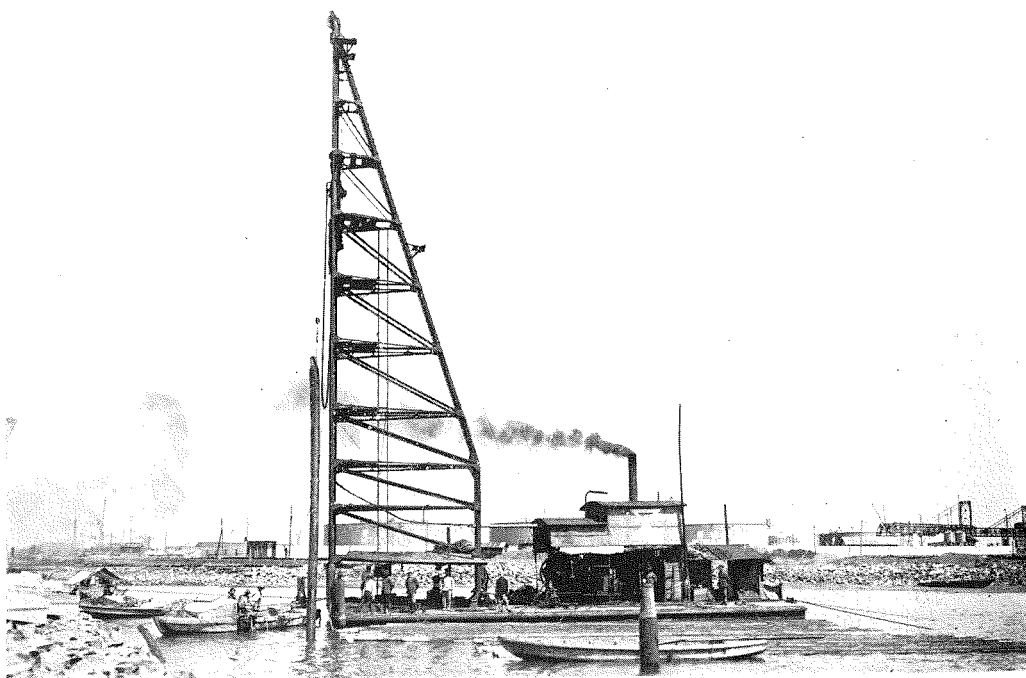
5 第八繫船岸々壁工
型枠据付(6,4)

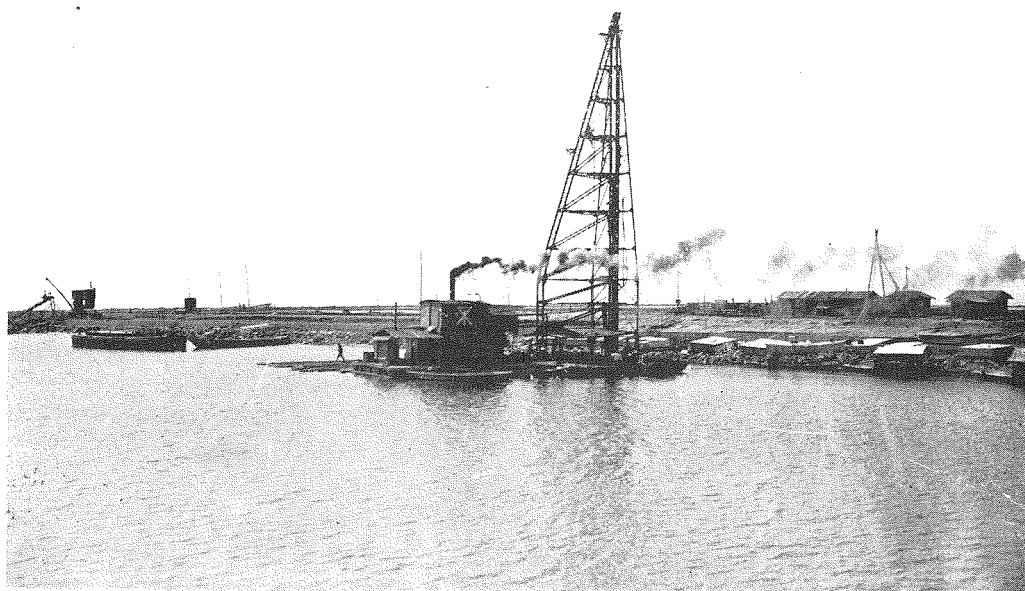




6 梅町二丁目荷揚護岸(沖之山)採取壁基礎掘鑿(6,5)

7 梅町二丁目荷揚護岸(沖之山)基礎杭打(6,5)

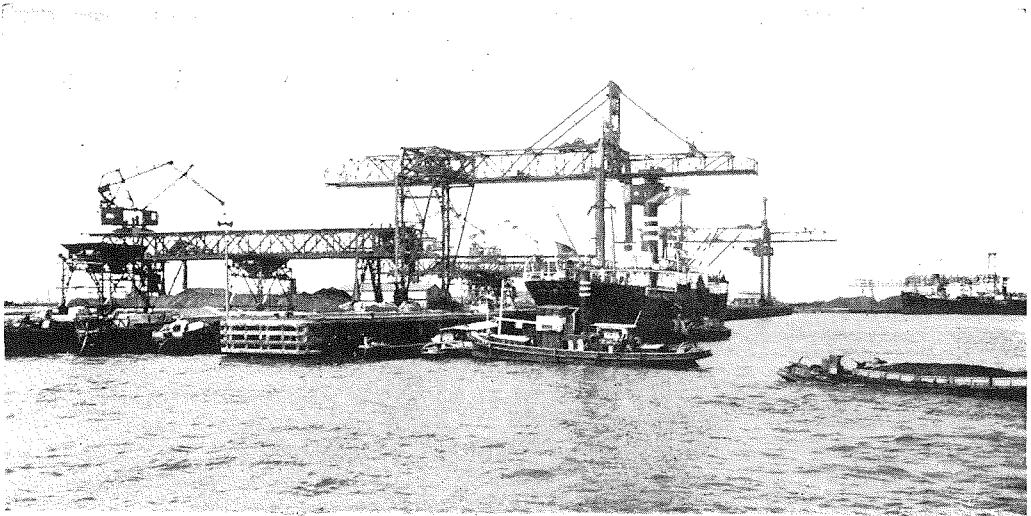




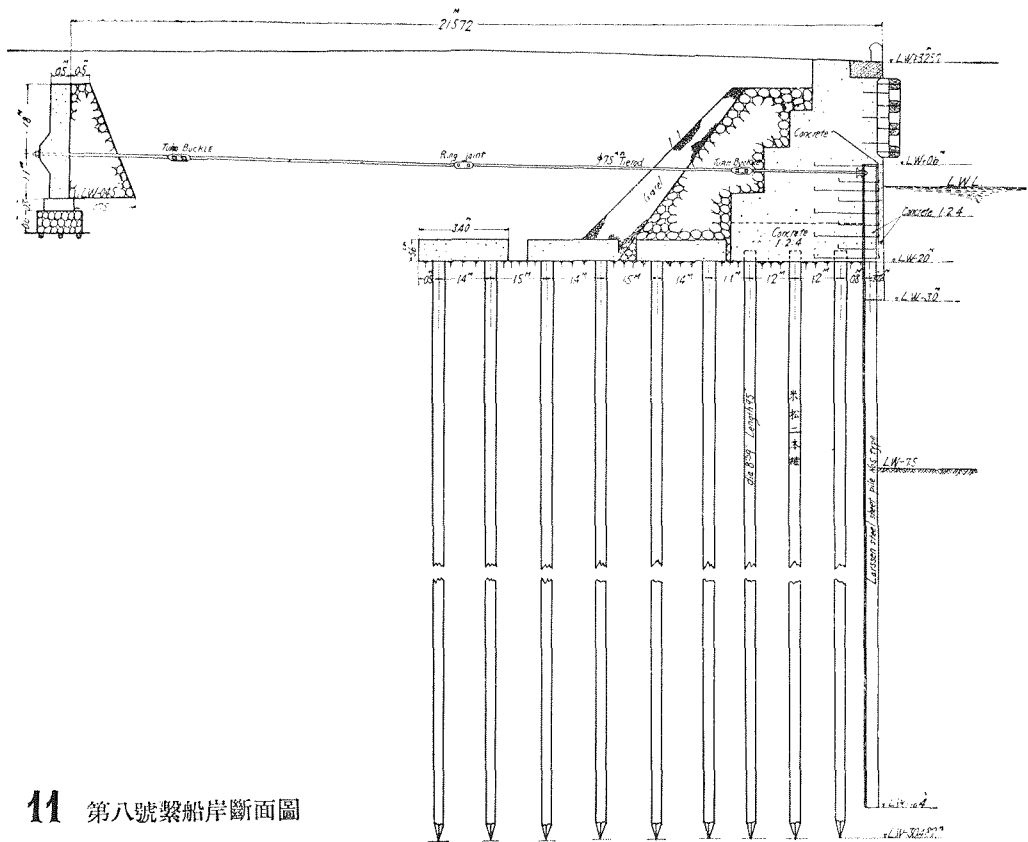
8 梅町二丁目荷揚護
岸工事 沖之山
(6,5)

9 梅町三丁目埋立工
事(6,5)



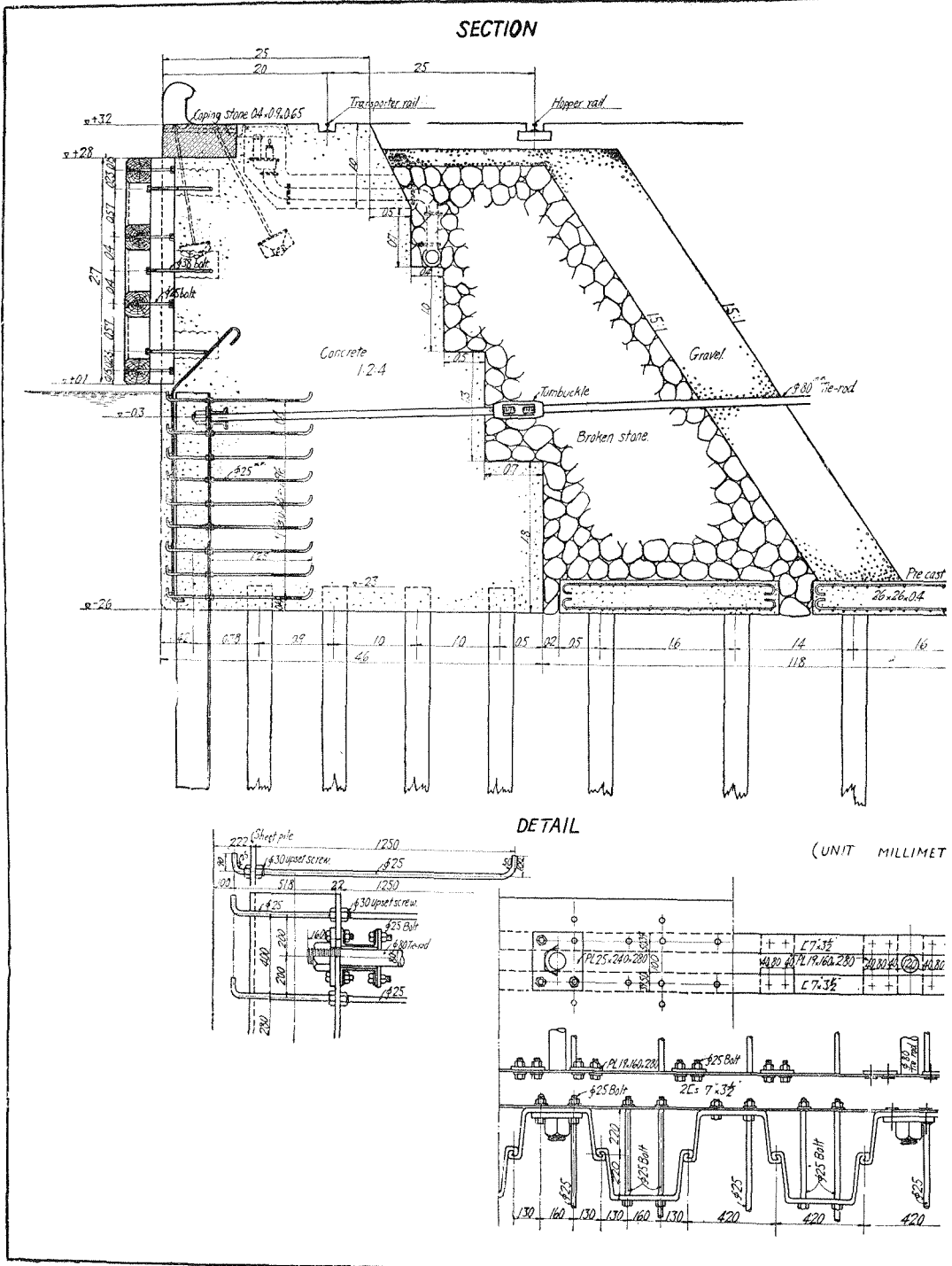


10 梅町棧橋



11 第八號繫船岸斷面圖

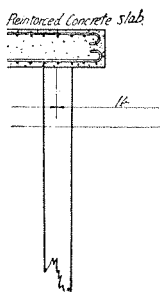
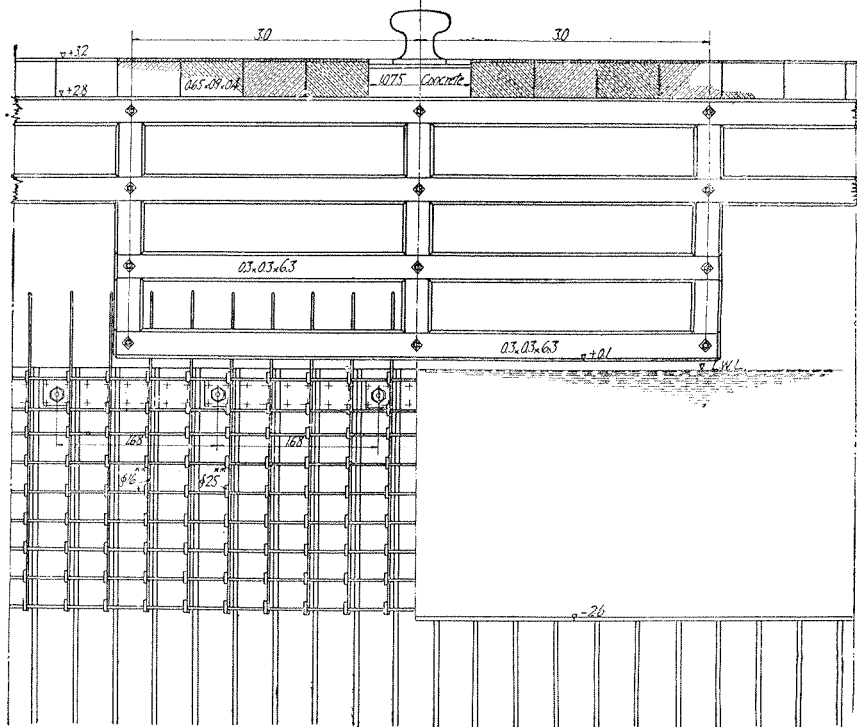
12 梅 町 繫 船



岸 詳 細 圖

ELEVATION.

(UNIT METRE)



(RE.)

